

COPDについて

(慢性閉塞性肺疾患)

なるほど!!健康講座
問 廿日市市保健センター
☎01610



佐伯地区医師会 禁煙推進部会
わたり・まさのぶ
渡 正伸先生

COPDを知ってください

COPDは今、注目の病気です。日本語では慢性閉塞性肺疾患と言いますが、長いので日常診療でもシーオーピーディーと言って説明しています。COPDは長年の喫煙などにより、知らない間に肺障害が進行し、気づかないうちに咳や痰、息切れなどが顕著となり、肺炎にかかりやすくなる病気です。肺炎を繰り返しながら呼吸不全となり、最悪の場合は死に至ります。40才以上の日本人の約530万人がCOPDと推計されていますが、そのうち正しく診断されて治療を受けているのは20万人余りです。残りの500万人以上は診断されないままで、徐々に病気が進行している状況と言えます。今後ますます増加し、同時に死亡率も上がるとされている病気で、厚労省が今年4月に発表した健康日本21（第二次）では、COPDを重要疾患と位置付け、

認知度向上や診断治療を推進していくことに苦心しています。

そのあなた、 COPDじゃないですか？

桂歌丸さんや和田アキ子さんは、COPDを患っている有名人の一人です。気付いたときには病気が進行し、声が出なくなったり、歌がうまく歌えなくなったりしました。治療を行い、改善している様子ですが、元通りにはなりません。喫煙歴のある方はまず、自分がCOPDでないか疑ってみてください。咳や痰、息切れなどが典型的な症状ですが、最近運動しなくなった、同年齢の人より体力がない、年を取ったと感じるなどもCOPDのせいかもしれません。COPDは肺機能検査で診断できます。息を吐いて肺活量を計測する「あの検査」です。肺機能検査は呼吸器を専門とする内科医院や病院で行うことができますが、検査機器を置

いていない施設もあるので事前の確認が必要です。

COPDの治療

まず禁煙です。そして生活の基本的な運動療法、食事療法などが重要です。重症化してくると気管支を拡張させる吸入薬を中心とした薬物治療が必要となります。さらに進行すると在宅酸素療法や補助呼吸器の装着が必要となる慢性呼吸不全状態となります。喫煙歴のある中高年の人や身内に喫煙者のいる方は、まず自分、家族がCOPDではないかと疑ってみてください。